

五

29

丙 授付昭和五年二月七日

立案 昭和五年二月七日  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長



宗秩寮總裁



宮内事務官



ノ故勳三等望月軍四郎位記追賜

昭和五年二月六日裁可  
二月七日官報報告

宮内省

裏面白紙

149



故勲三等望月軍四郎位記追賜ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十五年二月六日

内閣總理大臣米内光政



内

閣

文位第五八號

案起 昭和十五年二月

日 裁可 昭和十五年二月六日 施行 昭  
決定 昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

五

内閣書記官長



内閣書記官



故勲三等望月軍四郎ハ別紙文部大臣稟申  
ノ通功績顯著ナル者ニ候處本月一日死去  
ノ趣ニ付特旨ヲ以テ左ノ通位記追賜ノ件  
上奏相成然ルヘシ

故勲三等 望月軍四郎

内閣

特旨ヲ以テ位記ヲ追賜セラル

勲三等 望月軍四郎

叙正六位

二月一日付

故勳三等 望 月 軍四郎

右ハ明治十二年静岡縣大宮前町ニ生ル、資性温厚勤勉ニシテ夙ニ實業ニ志シ初メ株式賣買業、同仲買人等トシテ業務ニ精勵セシガ大正八年望月商事株式會社ヲ創立シ取締役社長ニ就任シ社運ノ隆昌ニ力ヲ效スト共ニ各種ノ事業會社ニ關與シ其ノ取締役社長又ハ取締役會長トナリ或ハ重役トシテ事業ノ發展ニ盡瘁セリ

同人ハ教育ノ振否ハ將來我ガ國運ノ消長ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナルコトニ深ク思ヒテ致シ之ガ發達ヲ圖ランガ爲ニ其ノ實業界ニ在リテ獲得セル巨富ヲ以テ從來學校財團並ニ教育關係諸團體ニ對シ基金、維持經營費、建築費等ヲ寄附シ曩ニ大正十三年六月功ニ依リ勳三等ニ叙シ瑞寶章ヲ授ケラレシガ爾後益々教育、育英ノコトニ力ヲ用ヒ今ヤ是

文 部 省

等各方面ニ醸出セル金額總計實ニ參百七拾餘萬圓ニ上リ其ノ中前記敘勳以後ニ於ケル寄附金ノ主ナルモノヲ算スルモ凡ソ百九拾七萬圓ニ達シコノ巨額ノ資財ニ依リテ我國教育界各方面ノ發達ト内外學界ノ進展トニ寄與シ又育英、公共ノ諸事業ニ貢獻シタルトコロ眞ニ甚大ナルモノアリ

同人ガ其ノ關係セル各種事業會社ノ業務ヲ通ジテ交通及紡績業等ノ發達ニ寄與セルトコロ大ナルハ贅言ヲ要セザルトコロナルト共ニ國力ノ源泉タルベキ人材ノ育成ニ關シ卓越セル識見ト強大ナル實行力トヲ以テ上述ノ業績ヲ擧ゲタルハ其ノ功洵ニ顯著ナルヲ認ム、然ルニ這般病ヲ得テ本月一日遂ニ死去致シタルニ付テハ此際特ニ生前ニ遡リ位階追賜ノ榮ヲ與ヘラレル様御詮議相成度

右 稟 申 ス

昭和十五年二月三日

文部大臣 松浦 鎮次

郎



内閣總理大臣 米内 光政 殿

文  
部  
省

展人發給第六一號

昭和十五年二月二日

東京府知事 岡 岡 周 造



文部大臣 松 浦 鎮次郎 殿

教育功勞者勳等階級ノ義具申

勳三等 蓮 月 軍 國 郎

夙ニ教育ノ振否ハ將來我ガ國運ノ消長ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナルニ深ク  
思ヒテ致シ之ガ發達ヲ圖ランガ爲學校財團並教育關係諸團體等ニ對シ基金、

東 京 府

維持經營費、建築費等ヲ寄附セルノミナラズ育英ノコトニ力ヲ用ヒ之等ニ  
出セル金額實ニ參百七拾餘萬圓ノ巨額ニ達シ我ガ國教育ノ發達ニ寄與貢獻セ  
ル功勞洵ニ甚大ナルモノ有之亦交通、紡績其ノ他各種産業ノ進展ニ盡瘁スル  
功績不尠候處病ヲ得テ二月一日死亡致候ニ付テハ同人生前ノ功勞ニ對シ特別  
ノ御褒賜ヲ以テ位階追賜ノ恩命ニ浴セシメラレ候様致慶事續調査等相添此段  
及具申候也

明治十二年八月十五日靜岡縣大宮前町ニ於テ生ル、資性温厚慕然勤勉ニシテ  
 公共心ニ富ム明治二十六年四月年齒僅ニ十五才ニシテ株式會社東京取引所仲  
 買人村上太三郎商店ニ入りテ刻苦勤勉株式取引ノ實務ヲ修得シ明治四十三年  
 十二月獨立シテ株式會社東京株式取引所ノ認可ヲ得テ株式賣買業ヲ開キシガ  
 幾何モナク廢業シ更ニ同取引所定期仲買人ノ免許ヲ受ケ開業仲買人トシテ顧  
 客ノ信用ヲ信條トシテ業務ノ發展ニ精進セシガ大正三年八月廢業ス  
 大正七年七月商業觀察ノ爲米國ニ就シ同年十二月歸朝翌大正八年十二月望月

東 京 府

商學株式會社ヲ創立シ取締役社長ニ就任シ専ラ社業ノ發展ニ力ヲ盡スト共ニ  
 各種事業會社ニ關與シ之ガ統率者タル取締役社長又ハ取締役會長トナリ或ハ  
 重役トシテ事業ノ發展ニ盡瘁ス

一 教育ノ振興發展ニ關スル件

夙ニ教育ノ發達ハ將來國運ノ消長ニ至大ノ關係アルト、我國ノ世界ニ覇ヲ  
 稱センニハ日支兩國ノ親善提携スルニ非ザレバ實現ノ至難ナルヲ洞察シ大  
 正八年成城學園財團ニ對シ中華民國學生教育資金トシテ金五拾萬圓ヲ寄附  
 シテ兩國ノ親善提携ニ寄與シ大正十二年十月文部省体育研究所敷地（價格  
 見積金四拾五萬六千參百圓）ヲ、帝國教育會、慶應義塾大學其ノ他教育關  
 係ノ團體ニ對シ基金、建築費、敷地買收費等トシテ寄附セル一口金五千圓

以上ノ分ニシテ判明セルモノノミニテ其ノ金額參百貳萬八千八百圓ニ達シ其ノ他ノ寄附ヲ合スルトキハ其ノ額參百拾六萬四千五百圓ノ巨額ニ達セルヲ見ルモ同人ノ如何ニ教育ノ振興ニ力ヲ致セルカラ知ルニ足ルベク我國教育ノ發達ニ寄與貢獻セル功勞洵ニ甚大ナルモノアリト謂フベシ  
同人ハ亦育英ノコトニ力ヲ致シ將來有爲ノ青年ニシテ勉學ノ資ナキ者ニ對シ學費ヲ與ヘ學業ヲ果タサシメタル者百九拾名金額參拾五萬五百圓餘ニ達シ今ヤ社會各方面樞要ノ地位ニ在リテ活躍シツツアリ現ニ九名ノ學生生徒ニ對シ給費ヲ加之同人ハ育英基金トシテ金貳拾萬圓ノ積立ヲ爲シ將來一層育英事業ニ盡瘁センコトヲ期セリ  
一各種事業會社ニ關スル件

東京府

同人ハ大正八年十二月望月商事株式會社ヲ創設シ取締役社長ニ就任昭和二年六月商號ヲ株式會社九曜社ト改メ現在同社ヲ中心トシテ橫濱倉庫株式會社、京濱地下鐵道株式會社、東京發動機株式會社、深振炭礦株式會社、奉天機器製造株式會社等ノ取締役社長トシテ、京濱電氣鐵道株式會社、湖南電氣鐵道株式會社（兩社取締役會長ハ昭和十四年四月辭任ス）錦華紡績株式會社等ノ取締役會長トシテ之ヲ統率シ、京成電氣軌道株式會社、日本特殊鋼管株式會社、東邦炭礦株式會社等ノ取締役、昭和製糖株式會社、外國會社ノ監査役トシテ執レモ會社業務ノ樞機ニ參畫ス就中京濱地下鐵道、京濱電氣、湖南電氣鐵道、錦華紡績、東京發動機等ノ各會社ノ事業ニ對シテハ特ニ社運ノ向上發展ニ力ヲ致シ交通並紡績業ノ發達ニ寄與セル所大ナリ



一 其ノ他ノ件

同人ハ財團法人慶應義塾委員、早稻田大學校實其ノ他各種教育ニ關スル財團法人ノ維持員、監事、評議員等ニ舉ゲラレ常ニ教育ノ發達ニ貢獻シツツアリ

學費給與人員調

大學院 大學 高等學校 專門學校 中等學校 其ノ他ノ研究 計

一 八二 二二 七一 二 二 一九〇

備考 給與金額ノ詳細ハ不明ナルモ約參拾五萬五百貳拾圓ニ達スル見込ナ

一人平均一、八四四圓八四四角

東京府

現在學費給與人員調

大學院 帝國大學 日本大學 明治大學 高等師範 中等學校 計

一 二 一 一 二 一 九

寄附金額調

望月軍四郎

大正八年二月	▲ 〇 〇 〇 〇 〇	成城學園財團（中華民國學生教育費トシテ）
大正十二年十月	■ 五 六 三 〇 〇	文部省体育研究所（敷地ニテ寄附）
大正十年	▲ 〇 〇 〇 〇 〇	帝國教育會
大正十二年	▲ 〇 〇 〇 〇 〇	靜岡縣大宮小學校講堂建築費
大正 年	■ 〇 〇 〇 〇 〇	靜岡高等學校建設費
昭和九年四月	■ 〇 〇 〇 〇 〇	慶應義塾幼稚舎建築費
大正十四年	一 〇 〇 〇 〇 〇	靜岡縣大宮小學校建築敷地費
大正十五年	一 〇 〇 〇 〇 〇	靜岡縣富士中學校建築費

東京府

大正十一年	一 〇 〇 〇 〇 〇	靜岡育英會
大正十年	一 〇 〇 〇 〇 〇	駿州學友會（學生養成ノ爲）
	■ 〇 〇 〇 〇 〇	攻玉舎中學校
	■ 〇 〇 〇 〇 〇	財團法人殖民語學校
大正十五年	一 〇 〇 〇 〇 〇	早稻田大學大隅總長記念事業
昭和 年	■ 〇 〇 〇 〇 〇	獨逸國學界
大正十三年	一 〇 〇 〇 〇 〇	日本女子大學
昭和四年	一 〇 〇 〇 〇 〇	東京府青山師範學校
	一 〇 〇 〇 〇 〇	滋賀縣多賀神社
大正十三年	一 〇 〇 〇 〇 〇	青山學院（東京）復興資金
昭和二年十一月	一 〇 〇 〇 〇 〇	慶應義塾大學支那講座開設費

昭和二年

29000

早稻田大學東亞經濟講座開設費

30000

東京帝大教授常盤大定博士支那佛教史研究費

40000

法政大學

大正 年

190000

東京市日本橋區兜町商業學校

昭和七年

40000

靜岡縣大宮町大火災見舞金

昭和七年

40000

帝都防空費

昭和七年

40000

身延山久遠寺

昭和十三年

290000

早稻田大學創立五十年記念事業

昭和十四年

40000

青山學院（東京）創立五十年記念基金

昭和十四年

40000

青山女學院（東京）創立五十年記念基金

東京府

昭和十一年五月

1000000

慶應義塾大學教職員退職慰勞基金

昭和七年

40000

東京女子高等師範學校

190000

成城學校（東京）留學生部記念事業

40000

青山會館（東京）

大正十三年

144000

官幣大社淺間神社（靜岡縣）遷新築費

昭和十一年

40000

久能山東照會

昭和十年

277500

大宮商工會（靜岡縣）基金

昭和十一年

60000

日本少年指導會

昭和十二年

2090000

財團法人大宮育英財團（靜岡縣）工業學校及商業學校設立經營費

昭和十三年

190000

タルパンガリ一氏後援費

昭和十二年	一〇〇〇〇	陸軍省（国防献金）
昭和十二年	一〇〇〇〇	海軍省（国防献金）
昭和十二年	三〇〇〇〇	静岡縣軍事援護事業資金
昭和十三年	三〇〇〇〇	村上記念青英財團基金
昭和十四年	一〇〇〇〇	陽明文庫
昭和十二年	一〇〇〇〇	みそぎ會（伊勢大廟内）
昭和十三年	三〇〇〇〇	拓植大學
昭和十四年	一〇〇〇〇	紀元二千六百年奉祝會
大正六年	四〇〇〇〇	東京青山師範附屬小學校改増築費
大正七年	二〇〇〇〇	東京青山師範本校理科實驗室増改築費
大正八年	八〇〇〇	東京青山師範本校理科實驗室器具機械一式

東京府

代

昭和十二年

六〇〇〇

東京青山師範恩齋館新築費

右ハ壹口五千圓以上ノモノノミコノ外ニ學生ニ二千圓、三千圓ト出シタルモノ數十萬圓アリ。

履歴書

本籍地 東京市赤坂區青山南町六丁目空番地  
現住所 同前

勲三等 望月軍四郎

明治十二年八月十五日生

明治廿六年四月 株式會社東京株式取引所仲買人村上太三郎商店ニ入り

實務ヲ修ム

明治卅三年十二月 獨立シテ株式會社東京株式取引所直仲買人<sup>取引</sup>

認可ヲ得テ開業

明治卅四年五月 一旦之ヲ廢業

明治卅四年六月 株式會社東京株式取引所定期取引仲買人免許

ヲ得テ開業

大正三年八月 右廢業

大正七年七月 商業視察、爲メ渡米

大正七年十二月 歸朝

大正八年十二月 望月商事株式會社ヲ設立シ取締役社長ニ就任

大正十三年五月 財團法人慶應義塾塾員ニ特選セラレ現在ニ至ル

大正十三年五月 合名會社田口銀行頭取ニ就任

大正十三年六月 多年教育事業ニ貢獻シタル功績ニ依リ勲三等

ニ叙セラレ瑞寶章ヲ賜ハル

大正十三年十二月 財團法人早稻田大學校賓ニ譽ラレ現在ニ至ル

大正十四年九月 支那各地ヲ視察

大正十四年十月 歸朝

大正十五年一月 株式會社帝國商業銀行(現在、株式會社第三銀行)專務

取締役ニ就任

大正十五年七月 太平生命保險株式會社監査役ニ就任

昭和二年二月 羅馬法王廳ヨリ勲二等シルベストール勲章ヲ贈ラル

昭和二年六月	株式會社九耀社ヲ組織シ取締役社長ニ就任現在ニ至ル
昭和二年六月	太平火災海上保險株式會社監査役ニ就任現在ニ至ル
昭和二年七月	東株代行株式會社監査役ニ就任
昭和二年十二月	合名會社田口銀行頭取ヲ退任
昭和三年七月	株式會社帝國商業銀行專務取締役任期滿了 ニ付退任ス
昭和三年十月	紺綬褒章ヲ賜ハル
昭和四年三月	日清生命保險株式會社取締役社長ニ就任
昭和五年六月	京濱電氣鐵道株式會社取締役會長ニ就任
昭和六年一月	賤團法人成城學校監事ニ就任現在ニ至ル
昭和六年五月	東株代行株式會社監査役任期滿了ニ付退任
昭和六年九月	賤團法人兜町商業學校評議員ニ舉ケラレ現在ニ至ル
昭和七年一月	太平生命保險株式會社監査役辭任
昭和七年十二月	紺綬褒章ヲ賜ハル

昭和七年十二月 新高製糖株式會社取締役ニ就任  
 昭和八年十月 賤團法人早稻田大學維持員ニ舉ケラレ現在ニ至ル  
 昭和八年十二月 昭和製糖株式會社監査役ニ就任現在ニ至ル  
 昭和九年十二月 京成電氣軌道株式會社取締役ニ就任現在ニ至ル  
 昭和十年一月 日本特殊鋼管株式會社取締役ニ就任現在ニ至ル  
 昭和十年二月 湘南電氣株式會社取締役會長ニ就任  
 昭和十年三月 賤團法人帝國教育會監事ニ就任現在ニ至ル  
 昭和十年四月 新高製糖株式會社大日本製糖株式會社ト合併  
 成立ニ付退任  
 昭和十年六月 橫濱倉庫株式會社取締役社長ニ就任現在ニ至ル  
 昭和十年十二月 株式會社東京株式取引所理事ニ就任現在ニ至ル  
 昭和十年十二月 錦華紡績株式會社取締役ニ就任現在ニ至ル  
 昭和十年十二月 滿州製糖株式會社監査役ニ就任現在ニ至ル  
 昭和十年十二月 賤團法人協同會評議員ニ舉ケラレ其ニ賤務委員

員ニ就任

昭和二年七月	日清生命保險株式會社取締役社長辭任ス
昭和二年九月	東邦炭礦株式會社取締役ニ就任現在ニ至ル
昭和二年十月	株式會社報國製作所取締役會長ニ就任同社橫濱倉庫株式會社ト合併成立ニ付退任
昭和二年十二月	錦華紡績株式會社取締役會長ニ就任現在ニ至ル
昭和二年一月	日本電氣冶金株式會社取締役ニ就任現在ニ至ル
昭和二年四月	紺綬褒章飾版ヲ賜ハル
昭和二年六月	昭飛飛行機工業株式會社監査役ニ就任現在ニ至ル
昭和二年六月	京浜地下鐵道株式會社取締役社長ニ就任現在ニ至ル
昭和二年九月	東邦探鑛株式會社取締役ニ就任現在ニ至ル
昭和二年十一月	財團法人大宮育英財團理事長ニ就任現在ニ至ル
昭和二年十二月	高砂鐵工株式會社監査役ニ就任現在ニ至ル
昭和二年二月	台灣ハルノ工業株式會社監査役ニ就任現在ニ至ル



昭和十三年六月 財團法人財正記念育英財團評議員ニ奉命シ現在至ル

昭和十三年七月 東邦金屬製錬株式會社監査役ニ就任現在至ル

昭和十三年十二月 昭和三十二年乃至九年事變ニ於ケル私財寄附ニ

ニ對シ復狀並ニ木杯一個ヲ賜ハル

昭和十四年二月 財團法人法政大學理事ニ就任現在至ル

昭和十四年四月 京浜電氣鐵道株式會社取締役會長ヲ辭任

昭和十四年四月 湘南電氣鐵道株式會社取締役會長ヲ辭任

昭和十四年四月 京浜地下鐵道株式會社取締役社長ヲ辭任

昭和十四年四月 東京發動機株式會社取締役社長ニ就任現在至ル

昭和十四年四月 深坂炭礦株式會社取締役社長ニ就任現在至ル

昭和十四年五月 奉天礦器製造株式會社取締役社長ニ就任現在至ル

昭和十四年十二月 東洋葉烟草株式會社取締役ニ就任現在至ル

右外尚財團法人社會教育會理事 靜岡縣  
教育會理事 駿州學友會々長 別格官帶  
社久能山東照宮評議員 身延山久遠寺山林

会委員赤坂と青山南町北町六丁目町会  
長等、職ニ在リ

立案 昭和 年月 日  
決裁 昭和 年月 日

官房 宣達

賞格 高 官  


案

特旨ヲ以テ位記ヲ追賜セラル  
故勲三等望月軍四郎  
勲三等望月軍四郎  
叙正六位  
昭和十五年二月一日

宮内省

右之通本日 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝  
辭令ハ追テ可及回送候也

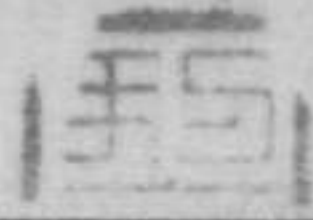
昭和十五年二月六日

宗秩寮總裁

文部大臣

三號 野紙

165



丙 發第 二五三 號

一 故 勳 三 等 望 月 軍 四 郎

右 位 記 及 回 送 候 條 交 付 方 御 取 計 有 之 度 候 也

昭 和 十 五 年 二 月 七 日

宗 秩 寮 總 裁 子 爵 武 者 小 路 公 共

文 部 大 臣 松 浦 鎮 次 郎 殿

二 號 算 紙

裏 面 白 紙

官 內 省